

ラーニングアナリティクスセンター
プラバシーポリシー

九州大学基幹教育院の倫理委員会の採択結果を受けて、本資料を公開します。

① 取組研究者と実験協力者

基幹教育院 教授 木實 新一

実験協力は表 2 に示す。

② 実験期間

平成 26 年 10 月～平成 31 年 3 月（予定）

③ 実験の内容

九州大学の学生の学習活動状況や教員の教育活動状況を解析するために以下の情報を収集・記録します。

1. デジタル教科書
2. 無線 LAN アクセス情報
3. e-Learning システム
4. e-Portfolio システム
5. コールシステム
6. 学務情報（シラバス、履修情報、成績）

これらの収集されるデータには個人のプライバシー情報が含まれるため、被験者に十分な説明をした後に同意を得られたユーザからのみ、ログを収集します。また、各センサから得られる原データ（1次データ）の利用者は、本研究プロジェクト参画メンバーに限定します。ただし、原データを解析することで得られる統計データや、個人が特定できない形式に変換した情報（2次データ）についてはオープンデータ化し、二次利用を行う可能性があります。本実験における個人情報の取り扱いに関する詳細は、下記の表 1 に示しています。

④ 個人情報の外部への提供について

ラーニングアナリティクスセンターは、以下の場合を除き、情報を外部に提供することはありません。

1. 本人が同意している場合
2. 法令による場合
3. 学術研究に利用する場合
4. 法人と機密保持契約を締結している協力団体、提携会社及び当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」といいます）

5. その他別に定める提供基準に合致する場合

⑤ 収集した個人情報の管理・保管

収集した個人情報については、管理責任者による適切な管理を行います。また、外部への流出防止、情報の紛失、破壊、改ざんの危険や外部からの不正なアクセス等の危険に対して、適切な安全対策を実施し、個人情報の保護に努めます。

委託業者は業務を行うために必要な範囲で個人情報を利用します。この場合は、機密保持契約の締結などの方法により、漏えい・再提供の防止などを図ります。

⑥ 通知・公表の方法、利用者関与の方法

説明会を開催します。また、以下の HP 上に本プライバシーポリシーの掲示を行います。

<http://lac.kyushu-u.ac.jp>

⑦ 問い合わせ窓口

基幹教育院ラーニングアナリティクスセンター

m2b-office@artsci.kyushu-u.ac.jp

092-802-5857

⑥ プライバシーポリシーの変更を行う場合の手続き

本プライバシーポリシーの変更は、上記 HP 上に記載されている内容を更新することで行うこととします。

表 1：個人情報取扱方針

個人情報収集対象	デジタル教科書	Moodle	Mahara	学務情報システム等
研究目的	九州大学の学生が履修している講義や日々の学習活動状況を複数の方法で収集・記録し、それらを分析することで講義改善や授業資料改善、修学状況把握、教員・学生へのフィードバックなどに役立てる。			
収集データ（1次データ） （記録項目）	デジタル教科書の操作記録（ページ移動やマーク等）、ユーザー情報、時間情報	小テスト、出席、レポートの提出など	ユーザの日誌	各ユーザの履修情報、講義室の利用情報、時間割情報、シラバス情報等

記録される個人の範囲	ノート PC や携帯端末にデジタル教科書ソフトウェアをインストールした者	Moodle を利用した授業を履修する者	e-Portfolio を利用した授業を履修する者	九州大学入学者
データ収集に関する周知方法	説明会の開催、Web ページ等による周知、事務局（相談窓口）の設置			
データ収集者の同意を得る方法	データを収集するユーザに説明をして、承諾を得る			
1 次データの蓄積場所	九州大学が管理する学習支援システム			
1 次データへのアクセス権限の範囲	研究者リスト（表 2）に掲載した研究者に限りデータにアクセスする			
1 次データの蓄積期間	10 年			
1 次データの廃棄方法	<p>【実験同意者】</p> <p>1 次データの蓄積期間経過後に消去。ただし、1 次データの蓄積期間中であっても、ユーザの申し出があれば、データを消去</p> <p>【同意者以外】</p> <p>1 次データの蓄積期間経過後に消去。1 次データの蓄積期間中は、データ解析等には一切利用しない。</p>			
1 次データの第三者への提供及び目的外使用	なし（ただし、法令に基づき、例えば本人の生命・財産を守るため、1 次データを第三者に提供し、又は目的外で使用することはあり得る。）			
1 次データの活用方法 （1 次データの利用目的）	学生の予習復習状況を解析したり、授業の理解度や授業目標に対する達成度などを解析して、関連研究に利用する。個人別、学部別、科目別など様々な観点で解析を行い、個人を特定できないレベルの情報（2 次データ）も生成する。			
2 次データの蓄積場所	九州大学が管理する学習支援システム			
2 次データの蓄積期間	論文等の発表後（論文等に発表しなかった場合は研究終了後）10 年			
2 次データの廃棄方法	なし			
2 次データの活用方法	年単位の比較や統計解析等に利用			

研究協力者

表 2：研究者リスト（教育ビッグデータプロジェクト）

2018年4月1日現在

木實 新一（実施責任者）	九州大学基幹教育院（教授）
山田 政寛	九州大学基幹教育院（准教授）
山田 祐樹	九州大学基幹教育院（准教授）
岡本 剛	九州大学基幹教育院（准教授）
小島 健太郎	九州大学基幹教育院（准教授）
畑埜 晃平	九州大学基幹教育院（准教授）
田村 かおり	九州大学基幹教育院（学術研究員）
陸 恣	九州大学基幹教育院（学術研究員）（5月着任予定）
安永 和央	九州大学アドミッションセンター（准教授）
岡村 耕二	九州大学情報基盤研究開発センター（教授）
岡田 義広	九州大学附属図書館付設教材開発センター（教授）
大井 京	九州大学附属図書館付設教材開発センター（准教授）
竹田 正幸	九州大学大学院システム情報科学研究院（教授）
瀧本 英二	九州大学大学院システム情報科学研究院（教授）
島田 敬士	九州大学大学院システム情報科学研究院（准教授）
末廣 大貴	九州大学大学院システム情報科学研究院（助教）
谷口 雄太	九州大学大学院システム情報科学研究院（助教）
廣川 佐千男	九州大学情報基盤研究開発センター（教授）
王 静芸	九州大学情報基盤研究開発センター（助教）
梅本 純子	九州大学情報基盤研究開発センター（事務補佐員）
大木 知美	九州大学情報基盤研究開発センター（事務補佐員）
丸野 俊一	九州大学理事・副学長
安浦 寛人（研究代表者）	九州大学理事・副学長（情報、情報公開等担当）
谷口 倫一郎	九州大学大学院システム情報科学研究院（教授）
緒方 広明	京都大学学術情報メディアセンター（教授）
大久保 文哉	高千穂大学経営学部（准教授）